

学位被授与者氏名	王 穎煜（おう えいゆう）
論文題目	日本外交文書和武汉会戦 （日本外交文書と武漢会戦）
論文審査結果の要旨	<p>本研究は、上記の七章において、1937年7月から1938年11月までの日本対中外交方針と行動を明らかにし、武漢会戦の歴史背景と外交動向を全面的に理解できた。特に第三章と第四章では、三つの課題を取り上げて、当時日本外交の一側面を詳しく研究した。『日本外交文書』と『石射猪太郎日記』にもとづいて作成した『年表』は、日中戦争初期の日本外交の流れを世界情勢の中に置いて把握できた。翻訳部分は、今までの研究資料の空白を埋め、これからの研究に役に立てるものである。</p> <p>しかし、本研究に取り組む『日本外交文書』は、あくまでも日本対中国いわゆる一方的な史料で、客観的なものではない。中国と諸外国（特にドイツ）の外交資料も集め、相手国と第三者の日中戦争に対しての態度及びその比較は今後の研究課題になるのだろう。</p> <p>平成29年2月28日、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>